

## 2年家庭分野

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>発表や発言の内容</li> <li>作業への取り組み</li> <li>プリントやポートフォリオ</li> <li>自己評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品</li> <li>課題解決行動</li> <li>道具の使用状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品レポート</li> <li>課題解決行動</li> <li>定期テスト</li> <li>作品</li> <li>実習</li> <li>定期テスト</li> <li>道具の使用状況</li> </ul>

### 評定の目安

- 各観点における絶対評価（A B C）に基づきながら5段階に配分します。  
(Aは満足できる状態、Bは各単元の目標を達成できた状態、Cは目標やねらいが達成出来ず不十分な状態。)
- 授業への関心・意欲・態度、課題レポート、技能、ファイルの内容、定期テスト等が評価対象となりますので、一つ一つの取り組みを着実に行いましょう。

学習の内容(70時間扱い)※定期テストが年1回実施されます。

学月	単元名・教材名	学習の内容
後期 11	快適に住もう ・住まいのはたらき	・住まいのはたらきを理解し、自分の生活に重ねて考えることができる。
12	・住まいの安全	・家族によって住まい方が違うことがわかる。
1		・安全を考えた住まい方を工夫することができる。 ・健康に配慮した室内環境を考え、工夫できる。
2	・持続可能な住生活  「家庭生活と消費」	・非常時の備えがわかる。  ・これからの住生活について考える。
3	「商品の選択と購入」  「よりよい消費生活のために」	・必要な物資やサービスを購入しながら生活をしていることをしり、消費の概念を学ぶ。  ・自分の消費行動を通して、商品の機能や安全性など様々な判断材料があり、よりよい選択について学ぶ。  ・消費者トラブルという身近な問題点を知り、よりよい消費生活について学ぶ。  ・消費者の権利と責任の意識に気づき、自分の消費行動を考える。  ・消費者を支える法律や機関が設けられていることを知る。